

温泉 宅配

de 感動

介護・福祉事業所の活用事例
ご利用者・ご家族との対話集

2025-5-15
株式会社ヒューマンウェア©

香りも心地よさも格別!

温泉の力で 介護に笑顔を。

温泉宅配とは？

源泉地から直接全国のご指定の場所へ温泉をお届けするサービスです。
全国各地の名湯からお好きな温泉をお選びいただけます。



- 十勝岳温泉
- 蔵王温泉
- 奥那須 板室温泉
- 日光 鬼怒川温泉
- 湯河原温泉
- 奥房総 亀山温泉
- 熱海温泉
- 伊豆 伊東温泉
- 伊豆 熱川温泉
- 南紀 白浜温泉
- 霧島温泉
- 湯布院温泉
- 別府温泉
- 人吉温泉
- 三瓶温泉
- 越前 あわら温泉
- 奥飛騨 平湯温泉
- 松之山温泉
- 蓼科温泉



20ℓボックス



2ℓペットボトル



普段の浴槽に
混ぜるだけ!



令和の御汲湯、温泉宅配サービス。 NHK^他メディアでも特集されました。

徳川家康が発明した御汲湯(熱海から江戸まで温泉を運ばせていました)を再生?!
当時の平均寿命40歳代のところ、歴代将軍徳川家は60歳代まで長生きをしました。

転載:NHK”武将温泉”



転載:NHK”ニュースウォッチ9”



温泉療法専門医*がおすすめる温泉習慣

*温泉療法の専門知識と資格を持つ医師(全国で187名2025年4月現在)。「温泉宅配」は伊藤美喜医師(温泉療法専門医)と連携しています。

温泉入浴で免疫力を高める究極の健康法

入浴は清潔を保つだけでなく、リフレッシュ効果もあります。さらに温泉は血行促進にもなりますので、褥瘡の予防や、治癒を早めるのにも効果的です。可能であれば、週2回程度の温泉入浴が推奨されます。



温泉療法専門医 医学博士
伊藤美喜 (Ito Miyoshi)
東京上野マイホームクリニック院長

Q. 湯あたりが心配です。

一回の入浴に対し、源泉を源泉2ℓ～4ℓ程度加えます。温泉を希釈して使用することで、湯あたりや肌荒れを防ぎ、安全に入浴できます。

※ 希釈しても皮膚から吸収される薬理効果(温泉の泉質で得られる効果)に大差はありません。

Q. 温泉入浴にはどんな効能がありますか？

環境省が定める温泉の適応症(効果を表す症状)は下記の通りですが、そのほかに介護される方に特化すると、免疫力アップ、床ずれ(褥瘡)防止、がんや動脈硬化等生活習慣病防止、香りを嗅ぐことによって認知症の進行を遅らせるなどが期待できます。

- アトピー性皮膚炎・皮膚乾燥症・尋常性乾癬・表皮化膿症・慢性湿疹●切り傷
- 高コレステロール血症●痔の痛み●病後回復期・健康増進疲労回復
- 喘息または肺気腫●高血圧(軽症)●糖尿病●冷え性・末梢循環障害
- 関節リウマチ・痛風・変形性関節症・腰痛症、神経痛・五十肩・強直性脊椎炎
- 自律神経不安定症やストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)
- 筋肉や関節の慢性的な痛みやこわばり、運動麻痺による筋肉のこわばり
- 胃腸機能の低下・便秘・十二指腸潰瘍・委縮性胃炎・胆道系機能障害・逆流性食道炎 等

※訪問温泉入浴は、通常の訪問入浴同様、要介護認定で要介護1～5と判定された方で、健康状態に問題がなく、かかりつけ医から入浴を許可されている方が利用できます。

要支援1～2の人は「介護予防訪問入浴介護」を利用することができます。



「生活援助」から「心と体を癒す療法」へ “温泉宅配”はケアの境界線を超えていきます。

入浴介助と温泉宅配が出会ったことで、入浴は「生活援助」から「心と体を癒す療法」へと進化しました。
医療でも福祉でもできなかった“心に届くケア”を、天然温泉のぬくもりが叶えてくれます。

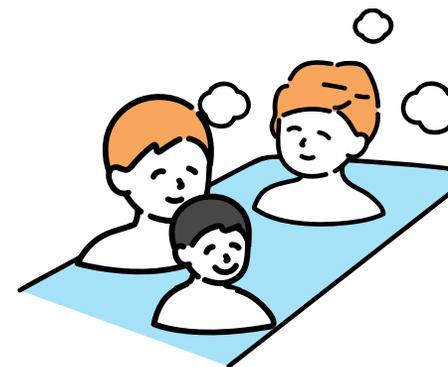
介護事業者様ご購入され、
イベントや個別入浴にご活用



競合他社との差別化や
集客に貢献いたします。

入浴料金や回数がアップする
ことで増益が期待できます。

ご家族ご購入され、ご家族と
介護(入浴介助)両方にご活用



介護事業者様は
ご利用者様の温泉宅配

購入代行を行なっていただく
ことで、利益が発生します。

各施設専用のQRコードで
ご注文いただくと温泉地から
直接届くので手間はありません。

ご活用事例 ご利用者・ご家族との対話集

温泉を介護に取り入れることで、ケアに携わる皆さまのご負担を和らげ、さらにこの仕事のやりがいや喜びを感じられる機会が広がればという思いから、対話集を作成いたしました。

温泉を通じて、ご利用者さまへの声かけや会話や笑顔が生まれ、ご利用者様が温泉に身体や心が癒され、介護がより円滑に進むことを願っております。みなさまの現場での工夫やご意見を大切にしながら、今後一緒によりよいケアの形を考えていけたらと思っております。ご活用いただけましたら幸いです。

タイトル・もくじ



“ご利用者様とご家族の感動”編

Case	Page
1: 今日も、名湯で笑顔を届ける日。	7
2: 温泉と共に、希望を運ぶ介護。	8
3: 名湯の力で、親孝行ができた日。	9
4: ケアに、ぬくもりという魔法を。	10
5: 温泉のぬくもりは、家族の絆をあたためる。	11
6: “名湯で送る時間”は、最高のケア。	12
7: 温泉ひとつで、生活が明るく変わる。	13
8: この湯のぬくもりが、心の痛みまで癒す。	14
9: “もう一度、旅に出た気分”を贈る仕事。	15
10: お風呂じゃない。“温泉”だから叶う感動。	16



“介護スタッフの感動”編

Case	Page
11: 肌に、心に、名湯のごほうびを。	17
12: マイホーム湯治で、人生をリセットする。	18
13 “介護の粋”を超えて、感動をつくる。	19
14: 今日、 “ありがとう”を何度も聞いた日。	20
15: 湯けむりの中で、生きる力が湧いてきた。	21
16: “もう一度歩きたい”に答える湯がある。	22
17: “ありがとう”が自然と出る、あたたかいお湯。	23
18: “ここまでやってくれるの？”と言われる介護。	24
19: “温泉の力”を、現場に届ける使命感。	25
20: 介護の先に、“幸せ”を描ける仕事。	26

Case1

今日も名湯で笑顔を届ける日。 介護の現場に、旅先のような感動を。



訪問先で浴槽に温泉を注ぐと、
認知症で笑顔の少なかった女性が「気持ちいい」と微笑む。

見守る娘さんもとても喜び、
「また来てくださいね」と声をかける。
「おばあちゃん、今日は温泉に入りましょうか」

訪問先で浴槽に注がれるのは、日本三大薬湯で有名な「松之山温泉」

松之山温泉は、世界的に有名な1000年前の化石海水が湧きる温泉*。

リウマチや冷え性の緩和に効果がある塩化物泉。
湯気の香りとともに、利用者の表情がふわっとほぐれる。

「気持ちいいねえ」と微笑むその笑顔に、
見守っていた娘さんが涙を浮かべる。

*日本三大薬湯(有馬温泉、草津温泉、松之山温泉)の一つで一般的な温泉の約16倍の溶存物質(16,256mg/kg)を誇る源泉です。

介護スタッフとして、ただの入浴を超えた「人生に残る喜びの瞬間」を届ける、それが温泉宅配にあります。

Case2

温泉と共に、希望を運ぶ介護。 ケアに温泉の力を取り入れた、新しい挑戦!



末梢循環障害のある女性が「手足がぽかぽかで夜ぐっすり眠れた」と感謝の言葉を述べる。

冷え性と不眠で悩む利用者が、「温泉の日はよく眠れる」と話す。

炭酸水素塩泉(人吉温泉、南紀白浜温泉、奥飛騨温泉、奥房総亀山温泉)による末梢血管の拡張効果。

*「温泉で冷え症や末梢循環障害が治った」と笑顔で言っていただけのお声がけ例

・今日は“名湯のぬくもり”で、指先までぽかぽかにしてみませんか？

・このお湯、指先まで届く“血のめぐり直行便”ですって。

・指先まであたたかくなってきてる…すごいですね、温泉の力って！

・まるで名湯に毎日通ってるみたいですね。あたたかさが体にしみ込んでますね。

・このまま温泉続けたら、もっと楽になりますよ。もう“冷え性卒業”かもですね！

“ぐっすり眠れる夜”は、心身の回復につながる何よりの処方箋です。

Case3

名湯の力で、親孝行ができた日。 在宅でも、“あの温泉地”に連れて行ける!



娘さんが「父に思い出の温泉を」と希望し、在宅入浴(訪問入浴介護)で名湯(南紀白浜温泉*)を提供。

南紀白浜の湯を使った訪問入浴で、浴槽に広がる温泉の香り。

入浴中の父が「こんな贅沢、初めてだ」と微笑む。
息子さんが黙って手を握る。

「父をもう一度、南紀白浜温泉に連れて行きたい」そんな家族の想いを形にするのが、この温泉宅配を活用した訪問入浴介護です。

*万葉の古人たちが憧れた日本三古湯（南紀白浜温泉・有馬温泉・道後温泉）の一つが南紀白浜温泉(和歌山県)。

最後の親孝行を支えるのも、私たちの仕事です。

Case4



ケアに、ぬくもりという魔法を。 温泉宅配がつなぐ、今日という一日!



スタッフが「今日は温泉ですよ」と言うと、いつもより表情が明るくなる利用者。その笑顔が何よりのモチベーションになる。

「温泉って、いいものねえ」。

入浴が“楽しみ”に変わる、それが温泉の力。「また来週もこの温泉に入りたいな、楽しみにしてるわ」と、その笑顔に励まされる介護スタッフ。

高齢女性が語る「温泉ケアの温もりの声」

- ・まるで旅館に来たみたいね、こんなお風呂初めてよ
- ・昔行った〇〇温泉を思い出したわ、懐かしいねえ
- ・お湯が体の芯まで届くようで、冷えがすーっと消えるの
- ・あなたたちが来てくれるだけでも嬉しいのに、温泉まで…感激よ
- ・ここまでやってくれる介護、ほんとにありがたいねえ
- ・この香り、いいわねえ。気持ちも落ち着くのよ
- ・ぽかぽかして、なんだか若返った気がするわ

温泉のぬくもりは、人と人との距離もやさしく縮めてくれます。

Case5

温泉のぬくもりは、家族の絆をあたためる。 介護が、家族のつながりの時間になる!



認知症の母親が、入浴後に娘の顔を見て「昔みたいね」とつぶやく。

母娘の心が一瞬つながった奇跡の瞬間。

入浴後、「この香り、昔行ったあの温泉に似てる」と認知症の母がつぶやく。
介護される時間が、母娘の思い出をつなぐ時間になった瞬間でした。

硫酸塩泉の湯河原温泉*の温もりは、心の奥深くにも届いていたのです。

*東日本の温泉地で唯一「万葉集」に詠われた由緒ある古湯。
温泉旅行が普及した江戸時代には相撲番付にならい、東西に分けて格付けした温泉番付「諸国温泉効能鑑」がつくられました。
湯河原温泉は東の温泉地ベスト3にランクされ三役の座を守りました。

認知症の親が在宅でも温泉地に行ける温泉宅配。

Case6

“名湯でおくる時間”は、最高のケア。 最期まで、幸せな時間をおくれる介護!



ターミナルケア中の利用者に、かかりつけ医の許可を得て温泉入浴。
入浴後、「いい人生だったな」と語り、家族が深くうなづく。
ターミナル期の利用者に、ご家族から「最期に温泉を」という願い。

伊豆熱川温泉の香りが広がる浴室で、「いい人生だったな」と語る穏やかな表情。
その言葉は、介護スタッフとしての使命の重みと尊さを深く実感させます。

最期は温泉宅配の天然温泉が贈りものになる。
日頃より、今は温泉が自宅に届く時代ですよ、「おうち温泉」はいかがですか？

これまでの積極的な声かけが実を結んだ。
自然を肌で体感できる新しい介護サービスの形。

温泉宅配は、“人生を締めくくる贈り物”になりました。

Case7

温泉ひとつで、生活が明るく変わる。 肌も心も、自信を取り戻す日々!



皮膚疾患に悩んでいた女性が、温泉入浴を重ねるうちに「**痒みが減った**」と笑顔に。

娘さんが「**やっぱり温泉ってすごいね**」と感動。

アトピー性皮膚炎で悩んでいた女性が蔵王温泉*でアトピーが改善。

何気ない一言「**お肌、すべすべしてきたかも**」が自信に変わる瞬間。

温泉の効能が優しく浸透し、皮膚トラブルをやわらげる。

*蔵王温泉は新型コロナウイルス不活化試験で94.9%死滅が証明された殺菌力抜群の強酸性温泉(強酸性ph1.5)です。

アトピーなどの皮膚病にも効用があります。

効能:アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、表皮化膿症、糖尿病、こわばり、リウマチ

毎日の介護が、**美と健康を支える喜び**に変わります。

Case8

この湯のぬくもりが、心の痛みまで癒す。 温泉は、心のリハビリでもある!



配偶者を亡くし落ち込んでいた高齢男性が、「温泉で気持ちが落ち着いたよ」と笑顔を見せる。

介護スタッフがその変化に胸が熱くなる。

配偶者を亡くし、何も話さなくなった高齢男性。

名湯に浸かりながら「**少し気持ちが和らいだ**」とぼつり。

温泉入浴の本質は、心の奥にある悲しみにも届く優しさです。

温泉入浴時の共感・安心を引き出すお声がけ例

・今日は〇〇温泉の湯なんですよ。昔行かれたこと、**ありましたか？**

・この湯、あったかいですね。身体も、心も、少しゆるんできますね

・**奥様も、こんなお風呂がお好きだったんじゃないですか？**

・この香り、昔の旅館を思い出しますね。落ち着きます

・温泉って、不思議と“話さなくても通じる”ような気がします

・この湯、心の疲れにも効くって言われてるんですよ

介護スタッフとして、“**心も支えるケア**”ができる一歩に感謝。

Case9

“もう一度、旅に出た気分”を贈る仕事。 旅先の記憶が、笑顔を連れてくる!



旅好きだった利用者が「この湯、昔行った温泉と同じ香りだ」と懐かしむ。

スタッフがさりげなくその地の音楽を流し、涙を浮かべる。

かつて全国を旅した利用者が、霧島温泉の湯*に触れてつぶやく。

「昔、あの山に登ったねえ」
失われた記憶が温泉とともに蘇る。

一言添えて「竜馬とおりょう気分ですね!」

*坂本龍馬と妻おりょうが日本初の新婚旅行として訪れた霧島温泉郷。与謝野晶子や斎藤茂吉も訪れた霧島温泉郷。

温泉が“思い出の再生装置”になる瞬間です。

Case10

お風呂じゃない。“温泉”だから叶う感動。 香りも、肌ざわりも、記憶に残る体験!



寝たきりだった女性が「温泉の香りがするだけで元気になる」と話し、浴室に笑い声が響く。

「今日は、特別な日ですね」
訪問した娘さんのひとことに頷くお母さん。

硫黄泉の香り、やわらかい湯触り、そして満ちた表情。
入浴介護から温泉入浴介護へ。入浴介護の差別化、付加価値化へ

寝たきりの褥瘡（床ずれ）の予防とケアに温泉は効果的！

入浴は清潔を保つだけでなく、リフレッシュの効果もあります。血行促進にもなりますので、褥瘡の予防や、治癒を早めるのにも効果的です。

可能であれば、週2回程度入浴をしていただきたいと思います。

「在宅での床ずれ・褥瘡（じょくそう）のケア（NHK）」（館正弘 日本褥瘡学会 前理事長）

“入浴”から“感動体験”へ。現場が変わる、介護が変わる。

Case11

肌に、心に、名湯のごほうびを。 自分らしさを取り戻す、温泉の時間!



皮膚トラブルが軽減し、肌をなでながら「しっとりしてきた気がする」と喜ぶ利用者の笑顔に癒される介護スタッフ。

美肌効果の高いあわら温泉(アルカリ性単純温泉)、薬湯の松之山温泉、湯河原温泉、人吉温泉…美肌効果は全ての温泉が適応します。

「自分の肌って、まだこんなに柔らかかったんだ」と驚く女性。



ケアされるだけじゃない、“自分らしさ”を取り戻す時間を提供できる喜び。

Case12

おうち湯治(マイホーム湯治)で、人生をリセットする。温泉宅配×医学が生んだ新しいリハビリ!



脳梗塞後の麻痺が残る利用者が、奥那須板室温泉（硫酸塩温泉）での入浴後に「**血が巡った気がする**」と実感。スタッフがその変化に手応えを感じる。

血行を促進する温泉効能*が利用者の手足が、ほんの少し動きやすくなる。**ノーベル医学賞理論に裏打ちされた温泉療法****。「自宅でこんな本格的な湯治ができるなんて」と感動の声。

*温泉が持つ3つのちから

- ①【**血行促進**】でこわばりの軽減、
- ②【**神経緩和**】で痛みや不安を軽く、
- ③【**浮力作用**】でやさしい運動補助。

- ・「麻痺側の足の冷えが減って、リハビリが続けられるようになった」
- ・「夜のトイレが減り、ぐっすり眠れるようになった」

**1998年ノーベル賞、生理・医学賞(米国UCLAのイグナロ博士)。

NO(一酸化窒素)は情報伝達物質として免疫力を高める理論。体温を0.5℃上げると、毛細血管の内皮細胞からNOが分泌され、血管を拡張し、血液の循環を促進します。

介護の現場が、最先端の医療と結びつく時代へ。

Case13

“介護の枠”を超えて、感動をつくる。 温泉という文化が、ケアに革命を起こす!

娘さんがお母さんに温泉入浴を希望し、お母さんがはじめての温泉での入浴介護サービスを体感。



これまでの入浴では味わえない「名湯効果」にお母さんも娘さんも驚き、「これは特別な日だね」と語り合う。
本物の天然温泉に巡り合えたお母さんは毎日の温泉入浴を希望。

～温泉文化を“心のケア”に変える～

- ・旅の感動を、在宅介護(訪問入浴介護)に届ける。
- ・入浴の“義務”から、“楽しみ”へ変える。
- ・介護に“文化”を持ち込む、感動の仕掛け人。
- ・“入浴介助・入浴介護”を超えて、“人生を輝かせる時間”を創る。
- ・介護のイノベーターとして“介護”の概念を、癒しと感動に変える。
- ・湯に浸かるだけで、“ここまで変わるの?”を体感してもらう。
- ・“まるで旅館みたい”と言わせる演出。
- ・“もう一度、あの温泉に入りたい”という希望を叶える存在。

温泉の持つ文化的・情緒的価値が、ケアの質を底上げします。

Case14

今日は、“ありがとう”を何度も聞いた日。 感謝の言葉が、現場のエネルギーになる!



普段は入浴を嫌がる利用者*が、「またこのお湯で入りたい」と笑顔。

家族が「奇跡みたい」と口にする。

温泉入浴後、何度も「ありがとう」を口にする利用者。

その声を聞いて、涙ぐむ家族と、黙ってうなづく介護スタッフ。

*温泉入浴を促すためのお声かけ例

- ・今日は〇〇温泉からお湯が届いたんですよ。旅気分で見ませんか？
- ・このお湯、筋肉や関節が楽になるって評判なんです。ちょっとだけ浸かってみましょうか？
- ・昔、温泉旅行行かれたことがあります？
今日の湯は、あの〇〇温泉なんですよ
- ・湯気の香りがいいですね。この香り、ちょっと吸い込んでみてください。
- ・温泉だから。のんびり浸かるだけでも違いますよ。
- ・最近、眠りが浅いって言ってましたよね？温泉入ると、よく眠れるそうですよ

介護の現場にあふれる感謝の連鎖は、温泉のぬくもりがきっかけでした。

Case15

湯けむりの中で、生きる力が湧いてきた。 冷えた手足にも、心にも、温泉のチカラを!



関節リウマチで手足の動きが悪かった高齢者が、温泉入浴後に「今日は少し手が動かせた気がする」とつぶやく。

神経痛と関節のこわばり。外出もおっくうになった利用者。訪問入浴で届けたのは、血行促進に優れた熱海温泉*(塩化物温泉)。

ゆっくりとお湯に浸かるうちに、「今日は少し手が動かせた気がする」と力強い言葉。

*熱海温泉は徳川家康が(御汲湯・おくみゆ)という温泉宅配制度で江戸城に宅配させて湯治に励んだ温泉です。

—大名気分を楽しむ、宅配温泉の魅力—

徳川家康が発明した(御汲湯・おくみゆ)を、令和の(御汲湯・おくみゆ)として再現したのが「温泉宅配」システムです。

特許情報:温泉水の供給システム(特許第7606728号)

発明者:山下憲男 株式会社ヒューマンウェア

介護スタッフとして、症状の変化に立ち会えることは、何よりの誇りです。

Case16

“もう一度歩きたい”に応える湯がある。 リハビリを支える温泉宅配という名の チームメイト!



リハビリ前に温泉で筋肉をほぐした高齢者が、「今日は足が軽い」と自信を取り戻す。

歩行リハビリ前に温泉で入浴することで、筋肉の柔軟性が向上。
「今日は足が軽い!」という一言に、スタッフ全員が笑顔になる。

温泉宅配×リハビリの前向きなお声かけ例

- ・この温泉、筋肉をほぐして動かしやすくしてくれるんですよ。
一緒に少しだけ、動かしてみませんか
- ・ここに来ると、みんな『動くのが楽になった』って笑顔になるんですよ。
〇〇さんもきっと、そうなります
- ・温泉でリハビリするとね、歩ける夢がちょっとずつ近づくんですって。
今日からその一歩、踏み出してみませんか?
- ・歩けるようになったら、どこに行きたいですか?
温泉がその第一歩かもしれませんね
- ・さっきより足が上がってますよ!
やっぱり温泉効果、すごいですね!

“温泉宅配”は、回復への意欲を引き出すサポートにも
なります。

Case17

“ありがとう”が自然と出る、温かいお湯。 心をひらくのは、言葉より先に“温泉”だった!



普段無口な利用者が、温泉入浴後に「ありがとうね」と一言。家族とスタッフ全員が驚きと感動に包まれる。

普段は無口で意思表示の少ない利用者。

名湯のやわらかいお湯にじっくり浸かると、ふと「**ありがとうね**」とひとこと。

温泉入浴を促す普段からの“お声かけ例”

- ・今日は〇〇温泉の特別なお湯なんですよ。
昔行かれた温泉に似ていますか？
- ・このお湯、関節や腰の痛みに効くってお医者さんもおすすめしているんですよ。
- ・このお湯、体が芯まであったまって、ぐっすり眠れるようになるんですよ。
- ・〇〇さんが気に入ってくれたら、また違う温泉も取り寄せてみますね。
- ・温泉の香り、ちょっと嗅いでみてください。癒されるって評判なんですよ。

介護スタッフとして、この瞬間に立ち会える奇跡が、私たちのやりがいです。

Case18

“ここまでやってくれるの？”と言われる介護。 サービス以上の感動を届けたい！

訪問入浴で名湯が登場した瞬間、「まるで旅館みたい」と驚くご家族。温泉の力が、在宅ケアに“期待を超える体験”を！



“温泉宅配×介護”の感動体験とは!?

身体のケア+心のケア+家族の安心+スタッフの想いが融合する最強のサービス。

全国の有名温泉から届く「本物の名湯」をご自宅のお風呂に注ぎ、介護スタッフが「旅館のような感動体験」を演出。

- ・名湯の香りに包まれる“旅館風入浴”:今日は〇〇温泉に小旅行ですよ。
- ・病状別を選ぶ“効能別温泉”サービス内容：リウマチ、冷え性、皮膚疾患など、症状に合わせた泉質を選定できます。
- ・「親孝行風呂」家族立ち会いプラン：家族も入浴の時間に立ち会い、最後の親孝行として心を通わせる場にもなり得ます。
- ・「記念日温泉」誕生日・結婚記念日に合わせた入浴演出も可能です。

“心を動かすケア”は、こうして温泉宅配から生まれました。

Case19

“温泉の力”を、現場に届ける使命感。 介護福祉士という名の、しあわせ配達人!



若い介護福祉士が「**私たちが届けるのはただの入浴じゃない。名湯の力です**」と先輩に誇らしげに語る。

「今日は、どこの温泉ですか?」とワクワクする利用者。感動と言う、期待を超える瞬間を届けるのが私たちの使命。

～温泉文化を“心のケア”に変える、プロフェッショナルの姿～

- ・旅の感動を、在宅介護に届ける。
- ・**家族の涙を、ぬくもりに変えるケア。**
- ・入浴の“義務”から、“楽しみ”へ変える力。
- ・“湯のぬくもり”で、心のバリアを溶かす専門職。
- ・介護に“文化”を持ち込む、感動の仕掛け人。
- ・**医学と文化をつなぐ、温泉ケアの架け橋。**
- ・副作用ゼロの天然温泉のケアで、安心と希望を届ける。
- ・症状に応じた“泉質選び”で、まるで処方箋のようなケアを。
- ・おうち湯治(マイホーム湯治)で、予防から回復まで寄り添う。
- ・“入浴介助・入浴介護”を超えて、“人生を輝かせる時間”を創る。

温泉を通じて、喜びも、元気も、未来も届けられると信じています。

Case20

介護の先に、“幸せ”を描ける仕事。 温泉とともに、人生を支える力になる！

利用者の笑顔、家族の安堵、そして自分のやりがいが一つになる瞬間に、「この仕事を選んでよかった」と心から思える。



“温泉宅配”はケアの境界線を超えていく

訪問入浴と温泉宅配が出会ったことで、入浴は「生活援助」から「心と体を癒す療法」へと進化しました。医療でも福祉でもできなかった“心に届ケア”を、天然温泉のぬくもりが叶えてくれます

- ・ 今日一日の笑顔を、名湯のぬくもりで引き出す。
- ・ “ありがとう”の数だけ、名湯を注ぐ。
- ・ 温泉に浸かるだけで、“ここまで変わるの？”を実感して頂く。
- ・ “介護”の概念を、癒しと感動に変える挑戦者。
- ・ 温泉の力で、心も血流もよみがえらせる(ノーベル賞受賞理論の免疫力)。
- ・ 天然温泉の泉質で、薬に頼らない選択肢を。
- ・ “まるで旅館みたい”と言わせる演出家。
- ・ 在宅を、名湯の湯治場に変えるプロフェッショナル。
- ・ 温泉文化を未来に繋ぐ、地域の語り部。
- ・ “もう一度、あの湯に入りたい”という希望を叶える存在。

“人生を支える仕事”を選んだあなたの背中を、名湯がそっと押してくれます。